

学びを通じて「宇治」の魅力を世界に！ 追手門学院大×宇治市「国際フィールドワーク」展開へ

追手門学院大学（大阪府茨木市：学長 坂井 東洋男）と京都府宇治市（市長 山本 正）は、観光振興を基盤に教育、国際交流、人材育成などを目的とした連携協定を結び、留学生と日本人学生による「日本の魅力発信フィールドワーク」の取組みを進めます。

このフィールドワークは、世界遺産の平等院や宇治茶を有する宇治の魅力を留学生と日本人学生によるフィールドワークで再発見し、国際的な視点からのPR方法について、海外情報発信に積極的に取り組む宇治市に提案するもので、2019年度からは学部科目として展開していきます。

これに向けこの度、追手門学院大学と宇治市両者の思いが重なり合い連携協定の運びとなりました。

追手門学院大学は、本年4月に国際教養学部アジア学科を関西初となる国際日本学科に名称変更し、来年（2018）4月の入学生からは新カリキュラムを開始します。日本を深く知った上で、他国の人々と積極的に対話できる人材の育成を目指しています。

一方宇治市は、観光振興策の一環として、豊かな歴史文化遺産を世界に発信するための取組みを積極的に進めています。

本学にとって宇治市は「日本的なるもの」を深く知ることのできる最良の学びのフィールドであり、学びの成果を宇治市に提案することで同市の観光振興に寄与します。

つきましては、下記のとおり、締結式及び共同記者発表を行いますので、報道関係の皆様におかれましてはぜひ締結式にご出席いただき、取材くださいますようお願いいたします。

記

1. 名 称：「追手門学院大学と宇治市との連携協力に関する協定書」締結式

【昨年までの取組み】

2. 日 時：2017年2月23日（木）14:30～15:00

3. 会 場：宇治市役所 7階 第2応接室 ※京都府宇治市

4. 調 印 者：宇治市長 山本 正（やまもと ただし）
追手門学院大学長 坂井 東洋男（さかい とよお）

5. 当日次第：

- ・宇治市長あいさつ
- ・追手門学院大学長あいさつ
- ・協定書へ署名
- ・追手門学院大学生によるこれまでの成果報告会
- ・質疑応答



本学留学生による朝日焼陶芸体験



本学学生による宇治茶PRの提案

この資料の配付先：京都大学記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】 追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 坂倉・塩田